

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
大泉 早智子			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	BS (社会人基礎)	202 (中級科目)

授業のねらい (概要)	クリティカルシンキングはグローバルに展開した持続可能な国際社会には常に求められるスキルである。AIなどの技術革新が進んでいく中、知識をそのまま受け止めるのではなく常に問題意識を持ち批判的思考プロセスで解決することがAIによる代替が不可能な分野で今後益々必要になる。これらは新たな価値を創造する力としての変革を起こすコンピテンシーであり、ビジネスにおいても等しく求められるものである。本講義ではこれらを達成するために能動的な協働学習を取り入れ、このスキルを応用した実践力と発信力を育成する。この科目はDP (ディプロマポリシー) に掲げられている「広い教養に基づいた創造的思考力と、課題解決力」を身に付けることを目的としている。
授業計画	<p>第1回 インTRODククション この講義の目標や進め方、評価方法、自己紹介を行う。 予習 (時間) : クリティカルシンキングについて図書館などで事前に調べておく。 (120) 復習 (時間) : 講義内容とワークシートをまとめる。 (120)</p> <p>第2回 批判的思考の概要 批判的思考とは何かを理解する。 予習 (時間) : 疑問に思ったことについて整理しておく。 (120) 復習 (時間) : 疑問を投げかけるアプローチについてのワークシートを整理する。 (120)</p> <p>第3回 批判的思考のプロセス 批判的思考のプロセスについて理解する。 予習 (時間) : 批判的思考のプロセスから知識創造の側面について考える。 (120) 復習 (時間) : 議論を提案して協働する必要性について再考する。 (120)</p> <p>第4回 論証 論証の手法を理解する。 予習 (時間) : 自分の考えを他の人に納得させる方法について事前に考える。 (120) 復習 (時間) : 論証の手法を使ってワークシートを整理する。 (120)</p> <p>第5回 情報とクリティカルシンキング 情報リテラシーとクリティカルシンキングとの関係を理解する。 予習 (時間) : 情報リテラシーとはなにかを事前に調べる。 (120) 復習 (時間) : 情報源の利用についてワークシートを整理する。 (120)</p> <p>第6回 データ分析 批判的思考に必要なデータについて理解する。 予習 (時間) : データにはどのようなものがあるか事前に調べる (120) 復習 (時間) : データ処理についてワークシートに整理する。 (120)</p> <p>第7回 批判的に読む 批判的な思考で読む方法について理解する。 予習 (時間) : 自分自身の読書について事前に調べる。 (120) 復習 (時間) : 実際に読書をしてワークシートの項目を埋める。 (120)</p> <p>第8回 批判的に書く 批判的な思考で書く方法について理解する。 予習 (時間) : 自分で書いたことのある文章を用意する。 (120) 復習 (時間) : 批判的な思考でワークシートの内容を書いて振り返る。 (120)</p> <p>第9回 批判的に評価する 批判的に評価する方法を理解する。 予習 (時間) : 評価とはなにかを事前に調べておく。 (120) 復習 (時間) : 学修した評価方法を使って自分自身を評価しワークシートに記入する。 (120)</p> <p>第10回 批判的思考と協働 批判的思考による協働について理解する。 予習 (時間) : コミュニティーにはどのようなものがあるか事前に調べる。 (120) 復習 (時間) : アクションラーニングを実施してワークシートに記入する。 (120)</p> <p>第11回 批判的思考と協働の実践① 批判的思考と協働の実践をバディで行う方法について理解する。 予習 (時間) : 批判的思考と協働について事前に復習しておく。 (120) 復習 (時間) : 協働の実践についてワークシートを整理する。 (120)</p> <p>第12回 批判的思考と協働の実践② 批判的思考と協働の実践をグループで行う方法について理解する。 予習 (時間) : 批判的思考と協働について事前に復習しておく。 (120) 復習 (時間) : 協働の実践についてワークシートを整理する。 (120)</p> <p>第13回 デイバートセッション① クリティカルシンキングの実践としてグループによるデイバート会の準備方法を理解する。 予習 (時間) : 批判的思考と協働についての学修をまとめておく。 (120) 復習 (時間) : セッションへ向けての事前準備を行う。 (120)</p> <p>第14回 デイバートセッション② グループによるデイバート会の実施により体験を深め実践力と企画力を理解する。 予習 (時間) : セッションへ向けての事前準備を行う。 (120) 復習 (時間) : 振り返りシートを作成して理解を深める。 (120)</p> <p>第15回 まとめ</p>

	<p>持続可能な社会を創造していくことを目的とする学習活動に必要なクリティカルシンキングについて理解する。</p> <p>予習（時間）：持続可能な社会について事前に調べる。（120）</p> <p>復習（時間）：将来に向けてクリティカルシンキングの活用を考える。（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（短期大学部）の次の項目を意識した科目になっている。</p> <p>1. 実践力を身に付け、組織において協働できる能力</p> <p>2. 基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力</p> <p>【身に付くスキル】創造的思考力・課題解決力</p>
到達目標	<p>クリティカルシンキングのスキルを身に付けることができる。</p> <p>批判的思考を応用して組織での問題解決の実践を行うことができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>提出課題やワークシートは確認して返却することによりフィードバックします。</p>
履修上の注意	<p>配布資料やワークシートは学修ポートフォリオとしてファイルすること。</p>
成績評価の方法・基準	<p>期末テスト50%、ポートフォリオ（パフォーマンスのルーブリック評価を含む）評価50%</p>
教科書	<p>特に指定しない</p>
参考書・教材	<p>【教材】プリントを配布する。</p> <p>【参考書】レスリー ジェーン・イールズ レイノルズ/ブレンダ・ジャッジ パトリック・ジョーンズ/エレイン・マックリーリー著 楠見孝/田中優子訳（2019）『大学生のためのクリティカルシンキング 学びの基礎から教える実践へ』北大路書房</p>
備考	<p>講義科目/実務家教員</p>
教員との連絡方法	<p>講義終了後の時間帯のオフィスアワーを利用。</p>